

～滝沢森林公園で馬に乗りたい！～

平成29年地域政策研究センター地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：滝沢森林公園における農耕馬を活用した利用のありかたに関する研究

研究代表者：総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎

課題提案者：NPO法人乗馬とアニマルセラピーを考える会（馬っこパーク・いわて）

技術キーワード：滝沢森林公園 農耕馬 乗馬道

▼研究の概要（背景・目標）

滝沢森林公園は、隣接して馬っこパーク岩手があり、馬による活用の可能性がある。また、農耕馬が減少しつつある中で農耕馬の活用場所が求められている。このため、滝沢森林公園における農耕馬の導入可能性について、検討した。



図1 乗馬道計画案

▼研究の内容（方法・経過）

1. 滝沢森林公園と周辺施設の関連性の検討
2. 森林公園の利用として馬を利用している事例について全国の状況を文献等により調査した。
3. 滝沢森林公園における乗馬道の設置の可能性について検討した

▼研究の成果（結論・考察）

1. 管理規則があるので残念ながらすぐには馬を入れられない
2. 全国には馬が入れる森林公園がある。
 - ・愛知県森林公園など
3. 滝沢森林公園には、乗馬道として活用できる道路がある。図1 写真1
4. 導入に当たっては講演利用者との調整やルール作りが必要である。



写真1 乗馬道候補管理道

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

今後、研究としての実験的な農耕馬の導入の可能性について管理者と調整し許可していただくための方策をさらに検討

実現できる場合には、森林公園利用者に対して馬の導入に関するアンケート等を実施し、利用者との調整が可能か判断する必要がある。

引き続き検討を続けたい。